

みやまの里

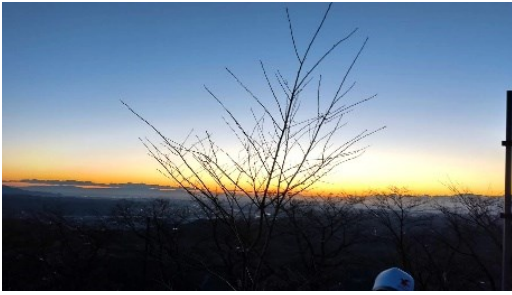
(農)東山茶業組合
静岡県掛川市東山一八二一―二
第48号 令和3年1月

謹賀新年



新春を謹んでお喜び申し上げます
掛川茶・東山茶の産地発展のため一層の
努力をしてゆく所存です
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

初日の出スポット 粟ヶ岳山頂



粟ヶ岳山頂に、干支丑出現 茶草500キロ使用

全国茶品評会に入賞



5年ほど前から、茶草を利用した干支のモニュメントを、東山地区で、制作しています。2月末まで展示

掛川市内の初日の出三大名所は国安海岸・小夜の中山そして粟ヶ岳山頂です。今年は天候に恵まれ、すばらしい初日の出を拝見できました。粟ヶ岳山頂に登って少し先に視線を向ければ、広大な駿河湾・牧之原茶園が一望できます。この壮大な景色の中から見える御来光は新しい年への期待を高めてくれることでしょう。



昨年の茶品評会が相次いで中止になる中、茶づくり日本一を決める全国茶品評会が行われ、東山茶業組合は深蒸し煎茶の部において一等二席を受賞しました。これからも高品質のおいしい深蒸し茶をお届けします

今年(牛)年

十二支の二番目である牛は古来より酪農や農業を通じて人々の生活に関わり、ゆつくりと着実に事を

成すひたむきな動物とされています。日本中どこもそうだったと思いますが東山地区でも耕運機などが普及する以前には牛が農家の立派な労働力でした。牛に田を耕起させるために体につける鋤(すき)も納屋の二階にありました。昔の牛は重労働をして大変でした。まだまだトラックのない時代には大八車を牛に引かせ刈った茶葉を運ばせることもしました(写真)。今から六十年以上前です。こうして大八車のあるのは裕福な農家でほとんどの人は担いで運んだようです。東山ではその後、茶業のかたわら肉牛飼育で経営したり、この辺の農家にとって身近な動物でした。



2022年新茶のご案内について

例年通り3月20日頃、新茶のご案内の封書をお送りします。また宜しくお願致します。



